

大磯町自殺対策計画（素案）に対する意見募集の実施結果について

1 意見募集期間

令和5年11月22日（水）から令和5年12月21日（木）まで

2 意見提出者数及び意見件数

提出者数 2人、意見数 15件

3 提出方法別の人数

提出方法	人数
持参・郵送	1人
F A X	0人
電子メール	1人
合 計	2人

4 提出された意見と対応内容

	ページ	意見の概要	対応内容
1		<p>計画書全体を通じて、中高年男性の自殺が多いとアセスメントされています。</p> <p>しかし、本計画書素案を読むと、その中高年男性に対する自殺予防策が、不十分のように感じられます。</p> <p>希死念慮を持つ中高年男性は、高齢期になり疾患、社会的役割の喪失等により、一層、自殺のリスクが高まります。中高年男性に対する、自殺予防策の積極的展開を望みます。</p>	<p>ご意見の内容は、「(7) 地域課題の自殺対策の推進」のこれからの取組みの中で参考とさせていただきます。</p>
2		<p>計画書の素案を読む限り、大磯町役場担当課窓口にて、希死念慮の高い町民が相談に来訪した場合、これは、神奈川県内の自殺専門機関の担当だと、たらい回しにしないでほしいと思います。担当課窓口で、十分、傾聴受容をしてほしいと思います。</p>	<p>まずは、町役場の窓口で丁寧な傾聴を行い、神奈川県や関係機関等の適切な相談窓口につなぐように今後も対応していきます。</p>

		<p>来談者は、勇気を出し、町の人なら、助けてくれると思います町役場にきています。その受容の上で、神奈川県の子殺専門談機関に振っていくのがいいかと思ひます。</p>	
3		<p>大磯町との関連の深い、地域福祉の専門機関である大磯町社会福祉協議会。同社協では、現在、町内各地区でのボランティア活動等の各種福祉事業を通じて、地域で孤立孤独化しがちな高齢者や、障がい者の生活支援に努めています。</p> <p>また、低所得世帯向けの、公的資金貸付事業を通じ、その生活支援を行い、生活苦から、自殺に至らないように当該世帯の支援に努めています。素案に社協活動との連携があると、自殺予防活動のすそ野活動が広がります。</p>	<p>大磯町社会福祉協議会とも連携し、自殺対策を実施しておりますので、18 ページ、36 ページの「生活困窮者への支援」に生活困窮者の支援の窓口として、大磯町社会福祉協議会と連携し支援を実施していることの記載を追加します。</p>
4		<p>町民の自殺予防対策には、日ごろ希死念慮をかかえる町民の生活相談にあたっている民生委員・児童委員の活動も、大きな自殺予防活動となっています。同じく、元犯罪者の更生保護を支援する保護司も同様に、元犯罪者が、地域になじめない、仕事がうまくいかないなどの理由から、抑うつになり、自殺に至らなうように支援活動をしています。この点も、素案に記載があると、自殺予防活動のすそ野活動が広がります。</p>	<p>ご意見の内容は、計画の取組みの中で参考とさせていただき、今後も大磯町民生委員児童委員協議会や大磯町保護司会とも連携し、自殺対策を実施していきます。</p>
5	13	<p>希死念慮が高い、がん等難治性疾患への支援の取組についても、記載があるとより</p>	<p>ご意見の内容は、「(3) 町民への啓発と周知②メンタルヘルスに関する啓発と周知」</p>

		よいです。	のこれからの取組みの中で参考とさせていただきます。
6	14	高齢男性におけるネットワークの強化についての記載があるとなおよいです。自殺者が最も高いのが、30代から50代の中高年年男です。この層へのアプロー実績が今後の鍵となると思います。	ご意見の内容は、「(7) 地域課題の自殺対策の推進」の取組みの中で参考とさせていただきます。
7	21	大柱6女性の自殺対策の推進、7地域課題の自殺の推進を明記したことで具体的にわかりやすくなったと思いました。リニューアルした部分を強調する形にしてはどうでしょうか。	「第5章これからの取組1 施策の体系」に「変更」、「新規」の記載を追加します。
8	25	素案9ページの調査からも、家族が主たる相談相手となっています。このことから、保護者やパートナーに対しての、ゲートキーパーの素養を身につける機会があるとよいです。講座は、土日の開催があると、保護者も多くの参加できると思います。 また、友人への相談も多いことから、学校での簡易版ゲートキーパー講座の開催が求められます。	ご意見の内容は、「(2) 自殺対策を支える人材の育成①ゲートキーパーの養成」のこれからの取組みの中で参考とさせていただきます。
9	26	町の職員がゲートキーパー研修を受けていることは町民にとって良いことだと思います。今後も継続してください。	ご意見の内容は、「(2) 自殺対策を支える人材の育成②町職員のスキルアップ」のこれからの取組みの中で継続的に実施してまいります。
10	26	町民への啓発と周知は大切です。具体的にどのような周知を実施しているか記載してはどうでしょうか。	「(3) 町民への啓発と周知①自殺対策に関する啓発と周知」の現状を「自殺予防週間や自殺対策強化月間では、

			『あなたにも守れる「いのち」がそこにある』を町のスローガンとして、町民に対して横断幕、公用車の啓発用マグネットの設置、ポスター、のぼり旗等による啓発活動を行っています。」に修正します。
11	26	<p>町広報誌においては、自殺予防の原則である、「TALK」の原則について掲載をお願いします。</p> <p>T e l l : あなたを心配していることを伝える。</p> <p>A s k : 「死にたい」気持ちについて、率直に尋ねる。</p> <p>L i s t e n : 相手の話を聴く。説教しない。</p> <p>K e e P s a f e : 安全を確保する。自傷があるときは医療機関に連絡。</p>	ご意見の内容は、「(3) 町民の啓発と周知①自殺対策に関する啓発と周知」のこれからの取組みの中で参考とさせていただきます。
12	32	「若者は自発的な相談に消極的で支援につながりにくい」と記載されています。この記載だと、若者を色眼鏡で見えてしまう恐れがあります。若者には、身近なSNSの窓口相談から、対面相談につながる工夫を図る旨の記載の方が、よいかと思われます。	「(5) 子ども・若者の自殺対策の推進③子ども・若者への支援」の課題を「若者が気軽に相談できるよう若者に身近なインターネットやSNS等による相談窓口の周知を行う必要があります。」に、修正し、施策に「若者に身近なインターネットやSNS等による相談窓口の周知を行います。」を追加します。
13	34	妊娠期から子育て中の悩みへの助言について、町では妊娠届時に面接や出産前後の電話等子育てについてきめ細かい支援をされていると聞いています。14ページにある取り組み内容にさらに充実させていくことを加筆してはどうでしょうか。	「(6) 女性の自殺対策の推進①妊産婦・子育てをしている保護者へ支援」の施策の「イ妊娠期から子育て中の悩みへの助言・指導」の内容を「妊産婦や子育て中の保護者に寄り添い、関係機関との連携を強化し、迅速に切れ目のない支援をさらに充実させて

			いきます。」に修正します。
14	35	<p>地域課題の自殺対策の推進は内容からして、自殺リスクの高い中高年男性への自殺予防の推進がいいと思われま す。一家の大黒柱である、父親が自死することは、残された家族には大きな衝撃となり、その後の人生に影を落と します。町にとっても、納税 勤労者の自死は大きな損失と なります。この項目は、30 ペ ージの孤立を防ぐための取組 や、次の（８）の受け止め、 つなげる相談支援、37 ページ の自死遺族支援とも関連しま す。</p>	<p>「（7）地域課題の自殺対 策の推進」の小柱の表題をわ かりやすくするため、「地域 課題の解決に向けた支援」か ら「中高年の男性への支援」 に修正します。</p>
15	37	<p>自殺未遂者のなかには、精 神障害者が少なくありませ ん。このことからして、自殺 未遂者の支援には、医療及び 福祉の連携が必要です。</p> <p>本書でアセスメント、プラ ニングされた課題解決の推進 役として、全世代を対象にし た「大磯町自殺予防委員会」 を立ち上げたらよいと思いま す。</p> <p>構成メンバーは、自殺問題 に関心をよせる社会福祉士及 び精神保健福祉士、医療職。 プラス自殺問題に関心をよせ る町民、希死念慮を抱く当事 者で構成。町障害福祉センタ ーを拠点に活動をするとよい です。</p> <p>主な計画される活動内容： ① 自殺リスクの高い、希 死念慮者からその希死 念慮を低減する活動。 傾聴活動。自己肯定感 の回復。</p>	<p>ご意見の内容は、今後の計 画の取組みの中で参考とさせ ていただきます。</p>

		<p>② 希死念慮者の多くが、うつ病に罹患しています。自宅での孤独な環境は、病状を悪化させます。ひどくなると、通院拒否です。外出して、誰かと話せる場としての居場所づくりが不可欠です。居場所があることにより、孤立孤独感の解消。アノミー状態からの脱却。希死念慮者のエンパワメント能力が回復してきます。エンパワメント能力が回復すれば、定期的な精神科医療受診にもつながり、生きる力の回復につながります。</p>	
--	--	---	--